

広域通信制・単位制高校 星槎(セイサ)国際高等学校からのご案内

星槎国際高等学校は、日本ではじめて「学習センター方式」による学び方を紹介した学校です。学習センターへの登校だけで高校卒業資格が取れる唯一の通信制高校です。北海道から沖縄まで全国 18 の学習センターに約5000人の生徒が学びます。

～ ご案内の要点 ～

〔1〕まだまだ受験が可能です。ご相談ください。 「追加入試」実施予定

高校受験で残念な結果となった生徒や受験・進学を前になかなか動き出せずにいる生徒にお知らせください。卒業後も受験を受付けます。但し、受験に際しては、生徒本人なりのしっかりとした心構えを持たせてから受験させてください。私たちは来るもの拒まず、願書を配っている学校ではありません。しっかりとした丁寧な面談を行っています。合格判断については、生徒、家族そして学校とが

「生徒の希望と課題とをあきらかにし、それを共感、共有できるのか？」

「その上で生徒、家族そして学校とが協力しあうことができるのか？」

この2つを基準としています。

丁寧な入試は、その後の生徒の安定した取り組みや保護者の協力等、充実した人間関係へとつながります。学校の荒れを未然に防ぐためにも、丁寧な入試を心がけています。

〔2〕経済的な問題もご相談ください。

奨学金をはじめ、さまざまな制度を利用したり、ご家族との話し合いをまじえながら学費を考え、準備していきます。大学や専門学校ならともかく、約 97%の生徒が進学するといわれる高校の段階で、学費でつまづく生徒を出してはなりません。制度だけでなく、本人やご家族の努力も前提としながら、何らかの救済策を見つけ出さなければなりません。それは生徒をとりまく私たち大人の仕事です。

〔3〕不登校と特別支援教育にも専門性をもって対応する学校です。

私たちは「不登校対応だけの学校」でもなく「特別支援教育だけを行っている学校」でもありません。私たちは「専門性をもって生徒、保護者と関わる学校」です。私たちは学校を小さな社会として考えています。有名大学に進む生徒もいれば、プロスポーツや芸術分野で活躍する生徒、あるいは手帳を取得して就労する生徒もいます。発達障害を持つ生徒もいれば引きこもりも含めた不登校の生徒もいます。この生徒らのあり方こそが私たちが目指す学校環境です。共通するのは学力があるなしではなく、何らかの「生きにくさ」を抱えている、あるいは抱えていたということ。この段階で生徒に関わる保護者や教職員には、生徒個々の課題や特性を理解する心と力がが必要です。専門家をおくことで環境改善を図るだけでなく、関わる大人全員が専門性を身に付ける努力をすることです。それが学校文化として生徒らに伝わり、「さまざまな人がいることが自然なこと」と考えられる社会人としての資質へとつながります。居ながらにして生徒は人を学んでいます。

追加入試・受験相談を行います。お問い合わせください。

星槎国際高等学校 本部校	01242-5-5001	厚木学習センター	046-296-5252
札幌学習センター	011-208-3111	浜松学習センター	053-450-9820
当別学習センター	0133-25-3555	大阪学習センター	06-6147-3830
帯広サテライト	0155-22-3830	富山学習センター	076-443-8668
仙台学習センター	022-231-5450	福井学習センター	0776-33-5070
郡山学習センター	024-995-3280	広島学習センター	082-503-1430
立川学習センター	042-521-3699	福岡学習センター	092-605-0577 (福岡西 402-2180)
八王子学習センター	042-686-1766	沖縄学習センター	098-931-1003
横浜鴨居学習センター	045-929-5010		

ぜひホームページをご覧ください。 <http://www.seisa.ed.jp>

私たちは、丁寧な面接・入試を行っています

生徒、保護者そして学校が共通理解、共通目標をもって高校生活に臨むため、丁寧な面接・入試を行っています。親子との三者面談により、しっかりと向き合い、話し合い、確認し合いながら入学を考えていきます。

必要と判断した場合は筆記試験も行いますが、基本は親子との面談になります。お互いがしっかりと話し込み、「生徒の希望、保護者の希望とは何か？」

「生徒の課題とは？それを助けるための周囲の課題とは何か？」

「それに対して学校は何ができるのか？」を判断します。

生徒、保護者そして学校にとっても、共に有意義な3年間を過ごすために、しっかりと話し込み、入学を判断する必要があります。1回の面談で結果がでる人もいれば、数回の面談を重ねながら結果がでる人もいます。まだまだ時間はあります。親子でご来校ください。

～ 学校のしくみと特色 ～

登校：〔1〕選択登校制

学年登校日（3年：月曜、2年：火曜 1年：水曜）

高卒資格取得の基本となる主要5教科の授業を行います。

ゼミ日（月曜～金曜）

進学対策、資格対策、体育・保健、レクリエーション、情報、芸術、SSTの7領域をふまえて、さまざまなゼミを開講しています。大学と同様の選択制であり、これが学校の目玉です。

時間割の基本は5日制対応となっていますが、週2日の登校を基本としながら、生徒の状況や家庭の状況に合わせて、とを組み合わせながら登校日を決めていきます。ゼミに関しては、調査書にも載せるなど、卒業後の進路と関わってきますので、担任と話し合いながら生徒自らが説明できるキャリアを作っていきます。その他、

〔2〕土曜コース（毎週土曜日開講）

働きながら通う人、あるいは少人数からスタートしたい人が利用しています。

〔3〕通信コース（土曜コース併用あるいは夏期・冬期集中スクーリングで対応）

保護者都合で普段は海外にいながら、帰国した時に通う人。

普段からスポーツや芸術分野の活動をしており、その合間に通いながら高卒資格取得を目指す人。

対人面で困難な状況があり、自宅でのレポート作成と添削指導を中心に学び始めたい人。

生徒状況はさまざまです。これらはあくまで仕組みであり、IEP（個別指導計画）と照らしながら、子どもの状況や成長にあわせて、柔軟に対応しています。子どもの成長を引き出すための「きっかけだらけの環境作り」そして「関わり合い学校」がテーマです。

～ 学費について ～

単位制であり、登校日数によって金額が設定されます。最寄りの学習センター担当へお問い合わせください。

奨学金、教育支援金、生活福祉基金、母子貸付あるいは自治体の教育融資など、ご家庭の経済状況を踏まえながら学費拠出を計画していきます。学費で高校生活が頓挫することはあってはなりません。学費については、いつでもご相談に応じます。

登校日に関わらず、毎日学校を利用することは可能です。

ただ毎日通うことが目的ではなく、生徒自らがキャリアを考えて授業を履修し（時間割を作り）取り組むことが目的です。もちろん、保護者と担任を交えて時間割を考えていきます。学校が作ったキャリアでなく、自らが考えて作ったキャリアとなります。これはその後の面接などで自信をもった返答として生きてきます。

<SEISA GROUPのご紹介>

星槎大学(教免更新講習申込受付中。受講者は約4000名。全国の大学でもっとも多くの先生方が学ばれています)

/ 横浜国際福祉専門学校(横浜市青葉区) / 星槎中学高等学校(中高一貫校・全日制、横浜市緑区) /

星槎学園高等部(旧 宮澤学園高等部、技能連携校、全日制、企業「外」学校の草分けです。目的別に6校)

星槎国際高等学校(あたらしい通信制高校のあり方を紹介。全国に展開しています) / 青葉台幼稚園・保育園 / ピーターパン幼稚園 / 星槎教育研究所(東京都受託事業コンパスをご確認ください) 他